

開設講習名	【選択必修】道徳資料を教材化してみよう		講 師	松岡 敬興	
講習会場	山口大学吉田キャンパス		会場所在地	山口県山口市	
開 設 日	平成 29 年 7 月 29 日		時間数	6 時間	受講予定人数 20 人
受講者募集期間	平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 3 日		履修認定時期	平成 29 年 9 月 30 日まで	
主な受講対象者	小学校・中学校教諭, 養護教諭, 栄養教諭				
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			
取り扱う事項	道徳教育				
【到達目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の教育的意義・教育課程上の役割などについて、自分の言葉で説明することができる。 ・道徳教育の意義や必要性を理解し、効果的な実践の指導法について考えることができる。 ・道徳教育の内容項目に即した指導案を作成し、説明することができる。 					
【講習の概要】 <p>本講習では、道徳の学習指導要領を踏まえ、道徳の時間の目標や内容、特質、指導案の作成の仕方および実際の指導方法について学ぶ。教材開発では「マザー・テレサ」題材として取りあげ、「思いやり、感謝」、「相互理解、寛容」、「社会参画、公共の精神」、「勤労」、「国際理解、国際貢献」、「感動、畏敬の念」、の内容項目から検討する。同様に「監督がくれたメダル」についても考察を加える。また、「僕は出ないエースの決断」を題材にして、学習指導案の作成に取り組み、模擬授業を通して、指導に必要な知識や技能を高める。</p> <p>～講習の計画～</p> <p>(1)道徳教育の諸課題とその解決に向けた手だて +講習内容等についてオリエンテーション +道徳の時間の目標と内容→現況(指導方法など)について、これまでの経験を振り返る。 +児童生徒の現状と道徳教育の役割→生徒指導、特別活動との関わりに着目する。</p> <p>(2)学習指導要領における道徳教育の位置づけ +道徳の目標と内容について +自ら考え、理解し、主体的に学ぶ道徳の時間→主に内容の取扱いに着目する。</p> <p>(3)道徳資料の教材化 +題材「マザー・テレサ」の多面的な分析 +題材「監督がくれたメダル」の多面的な分析</p> <p>(4)学習指導案の作成 +「僕は出ないエースの決断」(新聞記事)の教材化→指導過程を開発する。 +主に展開案のデザイン→シナリオなしのロールプレイで実践する。</p> <p>※ただし講習の展開において適切と判断した場合、教材を差し替えることもある。</p>					
【評価の方法・評価基準】 <p>評価の方法：筆記試験</p> <p>評価基準：合格:講義の内容を理解し、自分の言葉で説明できる。道徳の時間の指導案を構想できる。 不合格:それ以外</p>					
【テキスト・参考文献】 <p>事前にテキスト(資料)を配布する予定です。また、関連資料・参考図書については、講習内で紹介します。</p>					
【受講者への伝達事項】 <p>道徳資料の教材化に取り組みます。受講前に『マザー・テレサ』に関する文献をお読みいただき、ご参加いただければ幸いです。講習は、主にグループ・ワークの形態で進めますので、ご経験を踏まえつつ積極的な参画をお願いします。</p>					